

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」

奈良県選手団概要

- 選手団総数 407名
本部役員《30名》 監督・選手《373名》
スポーツドクター《4名》
監督・選手の内訳
監督 《45名》
選手 成年《159名》[男子120名・女子39名]
少年《169名》[男子121名・女子48名]
- 会期 平成22年9月25日(土)～10月5日(火)
- 場所 千葉県千葉市を中心に32市町村で開催。
- 総合開会式 平成22年度9月25日(土) 「千葉マリスタジアム」
- 出場競技数 【正式競技】陸上ほか31競技
- 団長 荒井正吾(アライ ショウゴ) 財団法人奈良県体育協会会長
- 総監督 小林 隆(コバヤシ タシ) 財団法人奈良県体育協会専務理事
- 旗手 尾川和丈(オガワ カズタケ) 佐藤薬品工業株式会社
[軟式野球競技 成年男子 に出場]
- 選手団の特色
 - 正式競技37競技中、サッカー、バレーボール、ソフトボール、カヌーアーチェリーを除く32競技、公開競技2競技に出場。
(水泳競技は、9/10～9/12の会期前開催日程にて競技会を開催。)

陸上・水泳・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・体操・バスケットボール
レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車
ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道
バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳
空手道・銃剣道・クレー射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ
(公開競技) トライアスロン・高校野球(軟式)

 - 昨年は男女総合成績33位と、目標を達成することができなかった。本年こそは全力で、20位台の確保を目指す。
今年度、冬季大会(3競技)終了時点の順位は、男女総合32位(30点)、女子総合37位(10点)である。
 - 特に期待する競技は、陸上、水泳、ホッケー、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、軟式野球、自転車、ソフトテニス、馬術、柔道、ライフル射撃、なぎなた、クレー射撃、弓道、ラグビーフットボールである。

《参 考》

回数	大会名	参加人員（60回までは秋季大会のみ）	天皇杯
46	石川国体	339人（役員20人、監督選手319人）	27位
47	べにばな国体	357人（役員20人、監督選手337人）	34位
48	東四国国体	369人（役員20人、監督選手349人）	27位
49	わかしゃち国体	388人（役員20人、監督選手368人）	26位
50	ふくしま国体	367人（役員20人、監督選手347人）	31位
51	ひろしま国体	370人（役員20人、監督選手350人）	31位
52	なみはや国体	445人（役員20人、監督選手425人）	27位
53	かながわ・ゆめ国体	392人（役員20人、監督選手372人）	33位
54	くまもと未来国体	398人（役員24人、監督選手374人）	38位
55	2000年とやま国体	340人（役員23人、監督選手312人） （スポーツドクター5人）	30位
56	新世紀・みやぎ国体	416人（役員27人、監督選手384人） （スポーツドクター5人）	33位
57	よさこい高知国体	367人（役員22人、監督選手340人） （スポーツドクター5人）	35位
58	NEW!!わかふじ国体	356人（役員20人、監督選手332人） （スポーツドクター4人）	29位
59	彩の国まごころ国体	355人（役員20人、監督選手330人） （スポーツドクター5人）	37位
60	晴れの国おかやま国体	368人（役員23人、監督選手340人） （スポーツドクター5人）	32位
回数	大会名	参加人員（60回までは秋季大会のみ）	天皇杯
61	のじぎく兵庫国体	531人（役員31人、監督選手496人） （スポーツドクター4人）	25位
62	秋田わか杉国体	444人（役員31人、監督選手409人） （スポーツドクター4人）	28位
63	チャレンジ大分国体	363人（役員31人、監督選手328人） （スポーツドクター4人）	33位
64	トキめき新潟国体	348人（役員30人、監督選手314人） （スポーツドクター4人）	33位